

## 兵庫県生物学会第8回公開講座報告

と き 昭和56年11月7日(土)午後2時~4時30分  
ところ 神戸市勤労会館 4F大会議室  
題 目 淡水プランクトンの生活  
講 師 兵庫県立北須磨高校教諭  
親和女子大学講師  
水産学博士 富川哲夫先生

例によりまして渋野先生の司会により、室井会長の挨拶がありました。富川先生についてはご紹介するまでもなく多くの方々にご存知と思いますが、淡水プランクトンの研究により北海道大学より学位を授与された方です。当日は県生物学会の会員を始め、先生のお知り合いの方々が多出席になり、また満席のため立って聞かれる方も多く、大変盛会でした。

昨年の第7回公開講座の折、淡水プランクトンについてお話しをしていただくことをご紹介しましたが、先生はそのため今年の冬頃からスライドの準備をされておられたと聞いております。

講演の内容は3部からなっております。第1部はプリントの資料によって淡水プランクトンの生活の内容について基礎的な事項を約50分間にわたって講演され、さらに第2部はこの近くの池にすむ淡水プランクトンの生活を約1時間にわたってスライドでご紹介され、さらに第3部は先生の学位論文となったヒゲナガケンミジンコ属のサルスケンミジンコの生活史について約40分間にわたってスライドを中心に講演されました。話もやさしく、わかり易く解説されましたので大変参考になりました。

以下その内容について簡単にご紹介いたします。

はじめに陸生生物と水生生物との概念について述べられ、さらに淡水生物学の歴史から淡水生物の内容と、淡水域に生活する淡水生物の種類にまでふれ、淡水生物の適応について話された。また淡水生物を生態学的に分類され、(1)ベントス、(2)ネクトン、(3)プランクトン、(4)ネウストンについて詳しく説明された。さらに湖沼の生物についても、その生活環境と栄養循環との関係から富栄養湖沼と貧栄養湖沼の特徴についてもふれられた。

プランクトン生物の種類については、資料によって説明され、プランクトンの年間消長、湖沼におけるプランクトンの分布、植物プランクトンの増減の原因、動物プランクトンの栄養、プランクトンの栄養価から赤潮プランクトンと湖沼の汚染にまでふれられてプリント資料による講演は終わった。

つぎにスライドによって、この地方の溜池の状態や、またそれぞれの季節によって変わる動植物プランクトンをカラースライドによって詳しくご説明いただき大変よい勉強ができました。

最後に先生の約10年間にわたって研究されたヒゲナガケンミジンコ属のサルスケンミジンコの生活史の全貌を約40分間にわたってスライドを中心に講演、永年にわたってご研究されたこの種の生活史の解明のためのご努力には頭の下る思いでありました。最後に室井会長から富川先生に対し謝辞があってこの会を無事終ることができました。係からも厚く御礼申し上げます。(安房明)

## 二 新刊紹介 二

### 「動物の観察」

室井 綽 著

保育社 カラーボックス(555) 定価 500円

内容の一部

・アマガエルの气象台。・イナゴの恋は盲目。・ウサギの餅つき。・ウドンゲの花。・カイロウドウケツの契り。・カタツムリ角出せ槍出せ。・カブトムシの飼育。・シマウマは箱入娘。・シラミは人造種。・ツバメの晴時計。・ニワトリのつつきの順位。・ハクチョウの子は黒い。・ヒメマルカツオブシムシの女泣かせ。・ヘビの赤舌。・ムクドリはかぐや姫。・モリアオガエルの不思議。その他、肩がこらずに物知りになれる面白い内容がたくさん盛りこまれ、特に各ページにきれいな写真やさし絵が入っており、ぜひご一読をおすすめしたい。

### ○書名 「図解動物観察事典」

著者 岡村はた、十亀好雄、富川哲夫  
前田米太郎、室井 綽

出版社 東京地人書館

発行予定日 昭和57年4月頃

定価(予定) A5版 550ページ 5,000円

### ○書名 「図解植物観察事典」

著者 家永善文、岡村はた、橋本光政  
平畑政幸、藤本義昭、前田米太郎  
室井 綽

出版社 東京地人書館

発行予定日 昭和57年4月頃

定価(予定) A5版 500ページ 5,000円